

東京都生徒商業研究発表大会を参観しました

令和5年8月15日(火)、都立第五商業高等学校において、東京都商業教育研究会主催の令和5年度東京都生徒商業研究発表大会が開催されました。この大会は、商業を学ぶ生徒が商業に関する課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動の中で、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てるとともに、その成果を発表する機会を通して、生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成することを目的としています。猛暑の中、今回は3校4チームが出場しました。

出場チームと「研究テーマ」(発表順)

- ◎都立大田桜台高校「馬込地区活性化プロジェクト」
- ◎都立第五商業高校「学校生活をもっと便利に -地域の木で学校生活を豊かにしたい-」
- ◎都立芝商業高校A「『はちみつ』でつながる芝地区 -養蜂体験の認知度拡大に向けて-」
- ◎都立芝商業高校B「ひがたにやってきた -竹芝干潟の魅力伝えるために芝生が絵本をつくってみた-」



東京都商業教育研究会
会長 石山智典 校長



大会委員長
相田誠一 校長



発表の様子(都立大田桜台高校)

いずれのチームも素晴らしいプレゼンテーションで甲乙つけがたいものでしたが、事前に提出された研究報告書も含めた審査の結果、芝商業高校Bチームが最優秀賞に輝きました。企業との連携やクラウドファンディングの活用など実践的な取組が目を引きました。審査に当たった教育庁指導部の佐竹晶博統括指導主事は、講評の中で「仮説→企画→実践→検証→課題」という研究の論理的構成が大事であることを強調されていました。

表彰式：最優秀賞(都立芝商業高校Bチーム)

